

# 耐候性試験 17年間相当後でもゴム弾性を持ち、良好な状態を保ちます

## ■ 試験条件

- ・ テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ150mm×幅50mm
- ・ 被着体 ステンレス板(SUS-304)
- ・ 試験方法 シンエツ パッチシールをSUS板に貼り、外周をシーラントマスター300-Gでシール。サンシャインウェザーメーターで120分/1サイクル、光源照射中に水を18分間噴射。1,750時間(6年間相当)、5,000時間(17年間相当)後に物性を測定。

## ■ 試験結果

シート表面は破損箇所がなく、良好な状態を保っている。5,000時間(17年間相当)経過後は切断時伸びの低下はみられるものの、粘着力は初期より大きくなった。

項目	時間	初期値	1,750時間(6年間相当)後	5,000時間(17年間相当)後
引張強さ	N/mm <sup>2</sup>	8.0	9.7	10.3
切断時伸び	%	400	350	280
粘着力	N/50mm	8.2	10.5	11.1
シート厚さ	mm	1.79	1.73	1.74

(規格値ではありません)

# 塩害暴露試験 海水の塩害に対してもサビの抑制効果を発揮します

## ■ 試験条件

- ・ テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ100mm×幅100mm
- ・ 被着体 鉄板(SPCC)
- ・ 試験場所 茨城県鹿島コンビナート内
- ・ 試験方法 シンエツ パッチシールを鉄板中央部に手で貼り、2年間岸壁の喫水部で放置暴露。

## ■ 試験結果

2年間の放置暴露後も、シンエツ パッチシールを貼った部分にはサビは発生せず、貼っていない外周部にはサビが発生した。

シンエツ パッチシールの防水性

ステンレス  
鉄板

2年放置暴露

シンエツ パッチシール 貼り付け

シートを剥がす

鉄板の外周部にサビ発生

シート貼り付け部:サビなし

# トンネルはく落防止用繊維シート接着工の押し抜き試験

パッチシールクロスは、NEXCO基準(小片はく落対策工) ネット系・樁系工法に適合します

## ■ 試験条件

- ・ テストピース パッチシールクロス HNS-200B 長さ600mm×幅400mm、厚さ60mmを2枚作成。一つを試験体1、一つを試験体2とする。
- ・ 試験方法 NEXCO試験方法 第7編 トンネル関係試験方法(平成25年7月)試験方法734-2011 「トンネルはく落防止用繊維シート接着工の押し抜き試験方法」に従って測定。試験にはインストロン ジャパン カンパニイ リミテッド社製の型式Model 5582を使用した。
- ・ 測定機関 一般財団法人 建材試験センター

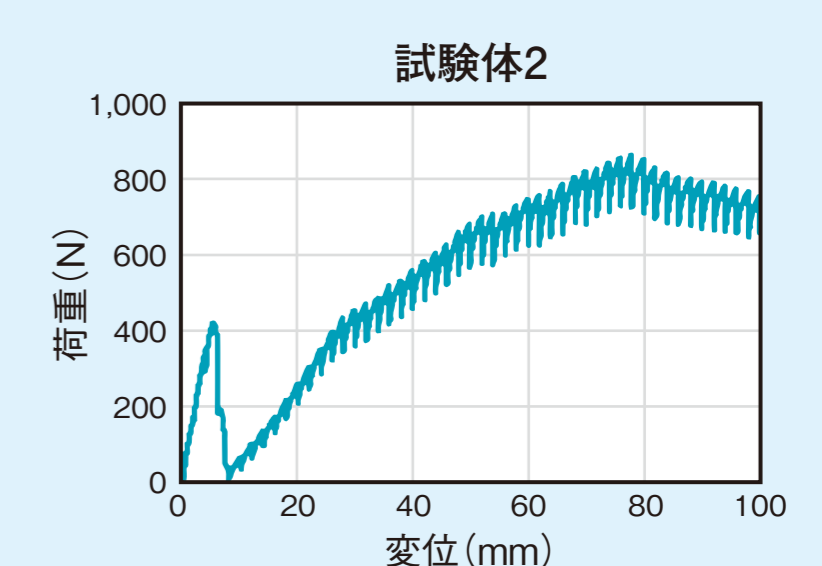
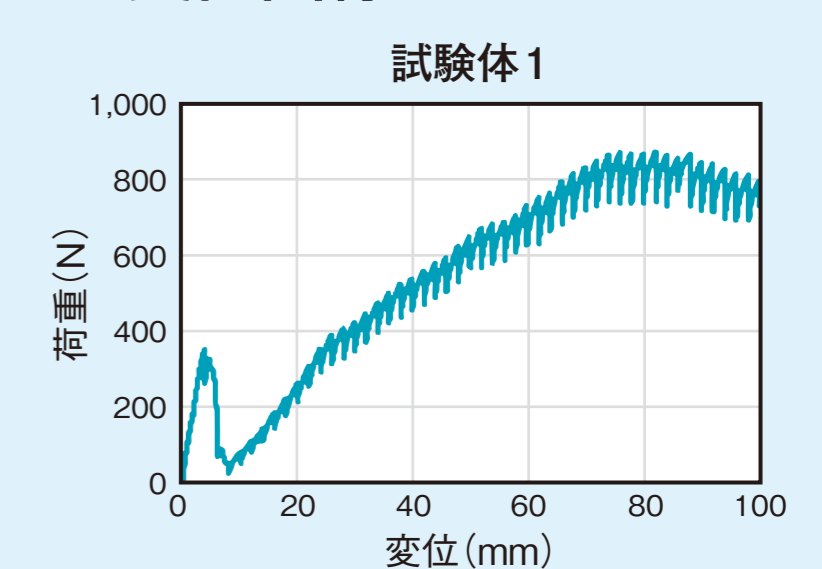
## ■ 試験結果

条件	最大荷重 (変位10mmから50mmまで) N	最大荷重時の変位 (変位10mmから50mmまで) mm	最大荷重 (変位10mmから) N	最大荷重からの変位 (変位10mmから) mm
試験体1	651	50	875	82
試験体2	706	50	888	78

規定値:P=500N D≦50mm

(規格値ではありません)

## ■ 変位曲線



試験体1の試験後の状態